

# エフケー不陸調整枠 (FKサポーター)

(Bumpy Slope Adjustable Wiremesh Frame) 特許第5907443号

## 標準積算資料

第 2 版

2019年 10月



株式会社 エフケーケー

## 目 次

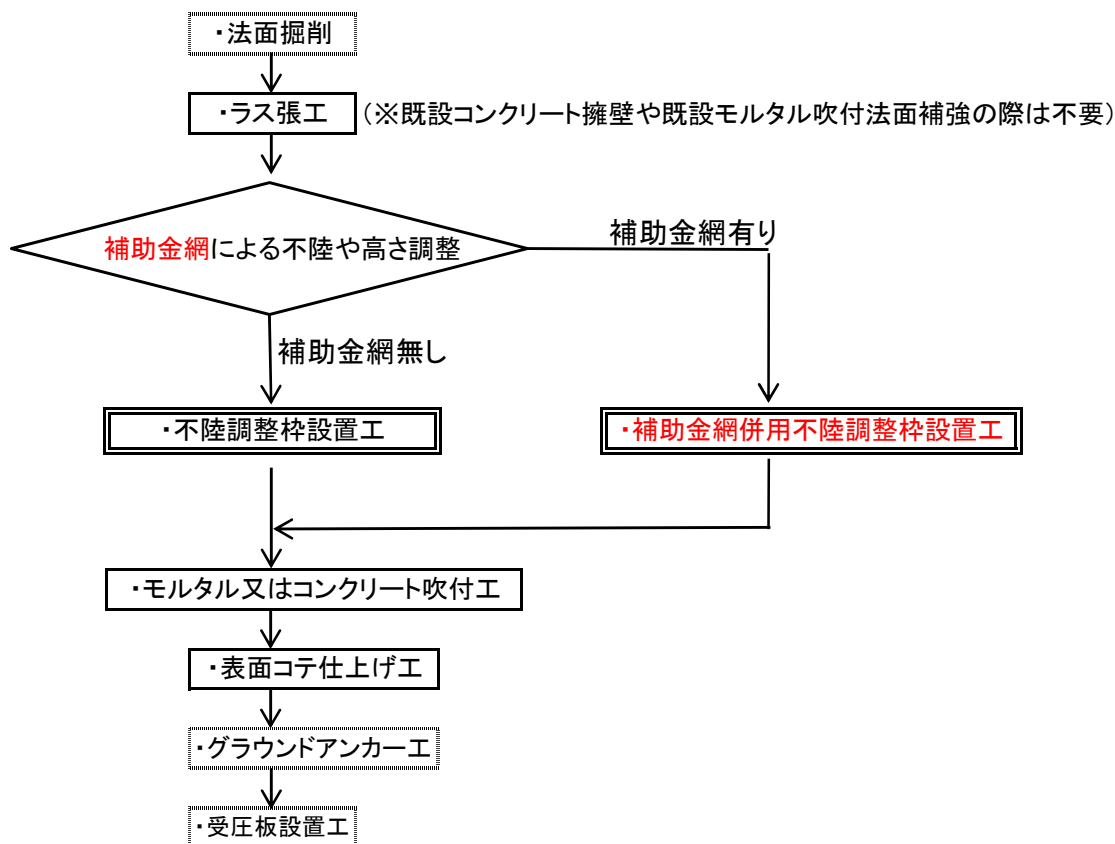
1. はじめに .....	1
2. 積算フロー.....	1
3. 編成人員.....	1
4. 標準施工歩掛.....	2
5. 積算単価表(例).....	4
6. 積算例 .....	5

## エフケー不陸調整枠 標準積算資料 (2019.10改訂版)

### 1.はじめに

・本積算資料は、斜面の不陸(凸凹)を解消し、グラウンドアンカー用受圧板の設置を容易にする不陸調整金網枠材「エフケー不陸調整枠(FKサポーター)」の設置に関する工事用積算資料です。

### 2.積算フロー



・上記のフローでは、不陸の大きな斜面や不陸調整台座に角度補正をつける場合に対応するため、補助金網を併用した「補助金網併用不陸調整枠設置工」を設けました。以下は、補助金網の使用の有無による現場の施工写真例です。

#### <補助金網を使用しない現場事例>



#### <補助金網を使用した現場事例>



### 3.編成人員

エフケー不陸調整枠設置工の日当たり編成人員は、次表を標準とする。(人)

職種	土木一般世話役	法面工	普通作業員	合計
人数	1	3(4)	1(2)	5(7)

※1: 仮設足場(単管、土足場)の場合は編成人員を合計5人とする。

※2: ローフ足場での施工の場合は、法面工を4人、普通作業員2人として合計7人とする。

## 4.標準施工歩掛

### 4-1)不陸調整枠設置工

不陸調整枠設置工の日当たり標準施工数量は次表とする。

日当たり標準設置数量:K		(基/日当たり)			
	タイプA	タイプB	タイプC	タイプD	
	$L \leq 2.0m$	$2.0 < L \leq 2.5m$	$2.5 < L \leq 3.0m$	$L > 3.0m$	
スクエア・セミスクエアタイプ	20	18	15	(別途)	
クロスタイプ	29	25	21	(別途)	

※L:エフケー不陸調整枠の一片長さ(m);スクエア、セミスクエアタイプ→T字金網方向、クロスタイプ→十字方向の寸法とする。

※上記の不陸調整枠設置数量に、【施工規模】、【地山の不陸高】、【斜面の土質条件】の各条件を考慮し、下記の

補正係数(k1、k2、k3)により施工能率(歩掛)を算出する。

※特殊サイズのアンカー受圧板については別途歩掛とする。

補正係数:k					
1)施工規模:k1		2)地山の不陸高:k2		3)斜面の土質条件:k3	
・20基未満	0.15	・5cm以上→補助網使用		・モルタル吹付、 コンクリート擁壁面	0.30
・20～50基未満	0.10	・3～5cm未満	0.10	・風化岩	0.25
・50～100基未満	0.05	・0～3cm未満	0.00	・岩塊・玉石	0.20
・100基以上	0.00			・礫質土	0.15
				・粘性土、砂質土	0.00

・補正後の施工能率:Mを下式により算出する。(注、現場状況が上表と大きく異なる場合は別途補正とする)

・施工能率: $M=K \times (1-k1-k2-k3)$

#### <参考写真:補助金網を使用しない現場事例>





#### 4-2)補助金網併用不陸調整枠設置工

補助金網併用不陸調整枠設置工の日当たり標準施工数量は次表とする。

日当たり標準設置数量:K		(基/日当たり)			
	タイプA	タイプB	タイプC	タイプD	
	$L \leq 2.0m$	$2.0 < L \leq 2.5m$	$2.5 < L \leq 3.0m$	$L > 3.0m$	
スクエア・セミスクエアタイプ	20	18	15	(別途)	
クロスタイプ	29	25	21	(別途)	

※L:エフケー不陸調整枠の一片長さ(m);スクエア、セミスクエアタイプ→T字金網方向、クロスタイプ→十字方向の寸法とする。

※上記の不陸調整枠設置数量に、【施工規模】、【地山の不陸または補助金網平均高】、【斜面の土質条件】の各条件を考慮し、下記の補正係数(k1、k2、k3)により施工能率(歩掛)を算出する。

※特殊サイズのアンカー受圧板については別途歩掛とする。

補正係数:k					
1)施工規模:k1		2)地山の不陸または補助金網の平均高:k2		3)斜面の土質条件:k3	
・20基未満	0.15	・55cm以上	別途	・モルタル吹付、 コンクリート擁壁面	0.30
・20～50基未満	0.10	・45～55cm未満	0.50	・風化岩	0.25
・50～100基未満	0.05	・35～45cm未満	0.45	・岩塊・玉石	0.20
・100基以上	0.00	・25～35cm未満	0.40	・礫質土	0.15
		・15～25cm未満	0.35	・粘性土、砂質土	0.00
		・5～15cm未満	0.20		

・補正後の施工能率:Mを下式により算出する。(注、現場状況が上表と大きく異なる場合は別途補正とする)

・施工能率: $M=K \times (1-k1-k2-k3)$

#### <参考写真:補助金網を使用した現場事例>



## 5.積算単価表(例)

〈積算条件〉

・グラウンドアンカー受圧板:	セミスクエア型(200-350)		
・不陸砕吹付面積 A(m <sup>2</sup> /基)	2.49		
・受圧板のタイプ:	タイプA:セミスクエア		
・標準設置数量:K(基/日)	K=	20	
・補助金網の使用の有無	補助金網	有り	

・補正係数 k

1)施工規模:基	30	k1=	0.10
2)地山の不陸高さ、補助金網平均高:7cm	7.0	k2=	0.20
3)斜面の土質条件:モルタル吹付法面		k3=	0.30

・施工能率 M

$$\text{施工能率: } M = K \times (1 - k1 - k2 - k3)$$

$$= 8.00 \text{ (基/日)}$$

・足場条件: 単管足場 → ・法面工(人): 3      ・普通作業員(人): 1

不陸調整枠設置工 単価表(例) (10基当たり)

工種・種別	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	1.25	10×(1/M)
法面工		人	3.75	10×(3/M)
普通作業員		人	1.25	10×(1/M)
エフケー不陸調整枠	不陸枠H=12cm	基	10	
補助アンカーピン	D13 L=500	基	160	
補助金網	クランプ金網	式(m <sup>2</sup> )		材料ロス、切断費含む
諸雑費	労務費計×1%	%		
計				
計(1基当たり)				

※補助アンカーピンの本数や長さは標準仕様のため、斜面の不陸が厳しい場合は協議の上変更を行うものとする。

※諸雑費はアンカーピン打設の削岩機損料等を含む。

※高さ調整用の補助金網は、不陸状況に応じて使用する。設計数量は平均不陸高×不陸調整枠の外周長=補助金網面積として計上する。また、設計時に不陸調整台座の補正角度が設定されている場合は補助金網の数量を算出し、積算に計上する。

## エフケー不陸調整枠吹付工 積算(参考)

### 6.積算例

#### 〈積算条件〉

・グラウンドアンカー受圧板:	セミスクエア型(200-350)
・不陸枠吹付面積 A(m <sup>2</sup> /基)	2.49
・受圧板のタイプ:	タイプA:セミスクエア
・標準設置数量:K(基/日)	20
・補助金網の使用の有無	補助金網 有り

#### ・補正係数 k

1)施工規模:基	30	k1=	0.10
2)地山の不陸高さ、補助金網平均高:7cm	7.0	k2=	0.20
3)斜面の土質条件:モルタル吹付法面		k3=	0.30

#### ・施工能率 M

$$\text{施工能率: } M = K \times (1 - k1 - k2 - k3)$$

$$= 8.00 \text{ (基/日)}$$

・足場条件:	単管足場	→	・法面工(人):	3	・普通作業員(人):	1
--------	------	---	----------	---	------------	---

#### エフケー不陸調整枠吹付工 標準積算(例) (10基当たり)

工種・種別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ラス張工	ラス網なし	m <sup>2</sup>	0.0			市場単価
不陸調整枠設置工	不陸枠H=12cm	基	10			内訳書
モルタル吹付工	枠高+不陸高=19cm	m <sup>3</sup>	4.73			市場単価
表面コテ仕上げ工		m <sup>2</sup>	24.90			市場単価
計						
計(1基当たり)						消費税別途

#### 不陸調整枠設置工 内訳書 (10基当たり)

工種・種別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
世話役		人	1.25			10 × (1/M)
法面工		人	3.75			10 × (3/M)
普通作業員		人	1.25			10 × (1/M)
エフケー不陸調整枠	H=12cm	基	10			
補助アンカーピン	D13 L=500	基	160			
補助金網	クランプ金網	式(m <sup>2</sup> )	4.13			材料ロス、切断費含む
諸雑費	労務費計 × 1%	%	1			
計						
計(1基当たり)						消費税別途

※補助アンカーピンの本数や長さは標準仕様のため、斜面の不陸が厳しい場合は協議の上変更を行うものとする。

※ラス張工、モルタル吹付工(水切りモルタル工)、表面コテ仕上げ工は市場単価を標準として適用する。

※諸雑費はアンカーピン打設の削岩機損料を含む。

※高さ調整用の補助金網は、不陸状況に応じて使用する。設計数量は平均不陸高 × 不陸調整枠の外周長 = 補助金網面積として計上する。また、設計時に不陸調整台座の補正角度が設定されている場合は補助金網の数量を算出し、積算に計上する。



## 〈会社の周辺地図〉



## 〈周辺地図(拡大)〉



お問い合わせ先

**株式会社エフケーケー**

〒390-1187 長野県松本市大字今井7250

TEL(0263) 85-3766 FAX(0263) 86-3310

<http://www.nfkk.jp/>

E-mail: [akiyama@nfkk.jp](mailto:akiyama@nfkk.jp)